

# 消防年報

令和元年版

池田市消防本部

# は じ め に

この消防年報は、平成30年中の消防業務の統計を集録編さんしたもので、今後の消防行政執務の参考に資するとともに広く一般に紹介し、防火思想の高揚を図るため編集したものです。

この冊子が本市消防をご理解していただく一助となり、今後における資料としてご利用願えれば幸いに存じます。

なお、各種統計表のうち火災・救急については暦年とし、その他は会計年度並びに当該表に記載した年月日をもって表示しました。

池田市消防本部

# 目 次

位置及び面積	1
消防機関配置図	2
沿革のあらまし	3
庁舎概要	8
歴代消防長	9
歴代消防団長	11

## 総 務 編

消防本部（署）組織	12
予算関係・決算関係	13
消防職員	
(1) 定数及び現在員数	14
(2) 階級別年齢	14
(3) 階級別勤続年数	15
人員配置状況	16
職員の免許取得状況	17

## 予 防 編

防火対象物	
(1) 防火対象物の現況、査察状況	18
(2) 防火対象物の立入検査件数	19
(3) 防火対象物の立入検査結果	19
(4) 住宅防火診断	19
(5) 防火対象物定期点検報告制度実施状況	20
(6) 中高層建築物（4階以上）の現況	21
建築同意事務等	
(1) 過去5年間の建築同意事務の推移	22
(2) 建築関係事務処理状況	22
(3) 用途別の建築事務処理状況	23
消防用設備等	
(1) 消防用設備等の届出状況	24

(2) 消防用設備等の検査状況	24
(3) 過去5年間の検査済証交付及び検査済処理状況	24
(4) 消防用設備等点検結果報告状況	24
防火管理	
(1) 防火管理者の選任状況	25
(2) 防火管理者の選任率	26
(3) 防火管理関係届出状況	26
(4) 防火管理者の資格付与状況	26
予防広報	
(1) 広報活動状況	27
(2) 広報紙掲載等の状況	27
危険物	
(1) 5年間の危険物施設の推移	28
(2) 施設別区分	28
(3) 施設の数量別及び業態別設置状況	29
(4) 第4類品名別貯蔵取扱数量状況	30
(5) 製造所等要保安監督者施設数	30
(6) 事務処理状況	31
(7) 立入検査等の実施状況	32
(8) 申請等に係る検査の状況	33
婦人防火・少年消防・幼年消防クラブ	34
高圧ガス保安法関係	
(1) 高圧ガス事業者等件数及び立入検査件数	35
(2) 事務処理状況	36
(3) 申請等に係る検査の状況	36
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律関係	
(1) 液化石油ガス事業者等件数及び立入検査件数	37
(2) 事務処理状況	37
火薬類取締法関係	
(1) 火薬類取締法事業者等件数及び立入検査件数	37
(2) 事務処理状況	38

## 警防救急編

消防車両等現況	39
主な救助・救急器具一覧	40

消防応援協定	41
豊能地域メディカルコントロール	42
緊急消防援助隊	42
消防総合訓練企画	42
消防特別警備企画	43
過去5年間の開発行為事務処理状況	43
自主防災組織結成状況	44
管制業務編（豊中市・池田市消防指令センター）	
（1）豊中市・池田市消防指令センター	46
（2）豊中市・池田市消防指令センター通信施設系統図	47
（3）119番通報中の携帯電話・IP電話の件数と割合	48
（4）119番等による消防事故の通信件数	48
（5）無線設備概要	49
（6）緊急通報システム	50
（7）緊急通報システム受信状況	50

## 消防署編

火災・救急・救助の概要	51
火災・救急・救助と人口統計の推移	52
火災調査業務	
（1）火災概要と前年比較	54
（2）過去10年間における火災の推移	55
（3）月別火災発生状況	56
（4）曜日別火災発生件数	57
（5）時間別火災発生件数	57
（6）出火原因別火災発生状況	58
（7）用途別火災発生状況	59
（8）その他出場状況	60
（9）管外応援・受援状況	60
警備業務	
（1）消防水利の現況	61
（2）消防ホース保有数	61
（3）火災予防条例に基づく届出処理状況	62
（4）警備パトロール並びに特別警備実施状況	63
（5）消防訓練等実施状況	64

(6) 事業所及び民間団体等における消防訓練・防火講習等指導状況	64
救急業務	
(1) 過去5年間の救急出場件数及び搬送人員	65
(2) 救急救命士の救急活動状況	65
(3) 救急講習実施状況	66
(4) 事故種別救急活動状況と前年比較	66
(5) 月別救急活動状況	67
(6) 曜日別救急活動状況	68
(7) 発生場所別搬送人員	69
(8) 時間別救急活動状況	70
(9) 医療機関別搬送人員状況	71
(10) 管内・管外診療科目別搬送人員状況	72
(11) 傷病程度別搬送人員状況	72
(12) 年令区分別搬送人員状況	73
(13) 年令区分別・傷病程度別搬送人員状況	74
(14) 現場到着所要時間別出場件数状況	75
(15) 収容所要時間別搬送人員状況	75
(16) 救急隊員が行った応急処置実施状況	76
救助業務	
(1) 事故種別救助出動及び活動状況	77
(2) 救助隊員の訓練実施状況	77

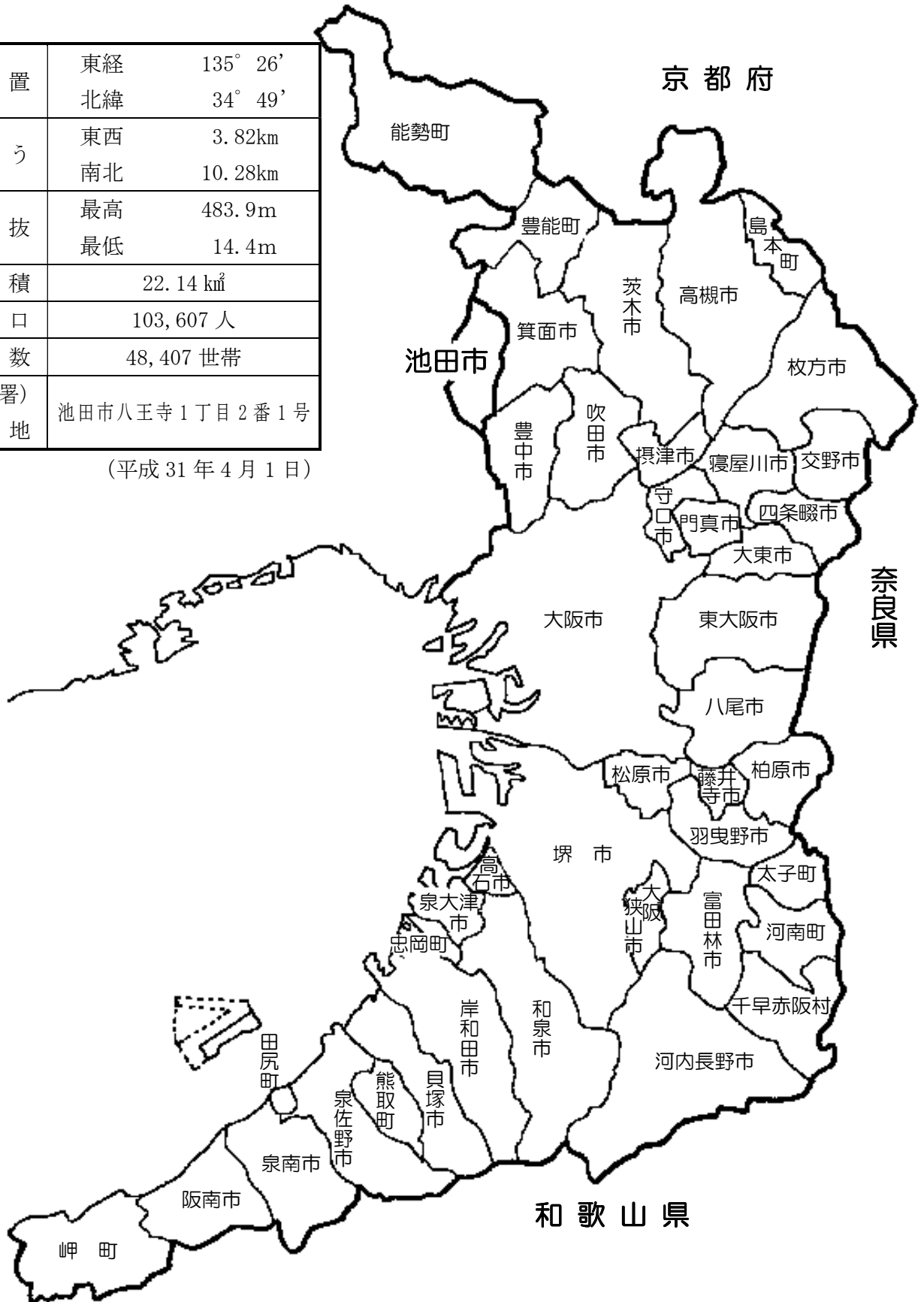
## 消防団編

消防団組織	78
消防団の沿革	79
消防団員	
(1) 現在員数	81
(2) 階級別定員・実員数	81
(3) 階級別在職年数	81
(4) 年齢別団員数	81
消防団員表彰状況	82
消防団出動状況	82
主たる消防団行事及び訓練等実施状況	83
消防団機械現況	84

# 位置及び面積

位 置	東経	135° 26'
	北緯	34° 49'
広 ぼ う	東西	3.82km
	南北	10.28km
海 抜	最高	483.9m
	最低	14.4m
面 積	22.14 km <sup>2</sup>	
人 口	103,607 人	
世 帯 数	48,407 世帯	
本部(署) 所在地	池田市八王寺1丁目2番1号	

(平成 31 年 4 月 1 日)



# 消防機関配置図

凡例	
◎	消防本部
○	消防署
○	細河分署
△	消防団本部
△	消防分団





## 沿革のあらまし

- 昭和19年 5月 特別消防署規定により官設、池田特別出張所開設  
(人員22人、消防車6台、三輪1台)
- 昭和21年 3月 池田消防署設置(管轄区域、池田市、箕面村、萱野村、止々呂美村の1市3村)
- 昭和23年 3月 消防組織法施行により自治体消防発足
- 昭和23年 6月 1日 消防職員定数57名
- 昭和33年 9月 中短波消防無線電話(基地局1、移動局3)を設置開局
- 昭和36年 3月 消防庁長官より表彰旗を授与
- 昭和36年 4月 1日 消防職員定数59名に条例改正
- 昭和36年 9月 18日 日本損害保険協会によりニッサンFRB140型消防車1台(火災保険号)寄贈、消防本部に配置
- 昭和37年 12月 粉末消火器、酸素呼吸器、防火服を装備した化学消防車1台購入  
消防本部に配置
- 昭和39年 1月 8日 救急自動車購入配備、救急業務開始
- 昭和39年 8月 12日 屈折はしご付消防ポンプ自動車1台購入、消防本部に配置
- 昭和41年 12月 1日 II型化学車購入、消防本部に配置
- 昭和41年 12月 10日 池田市、伊丹市、消防相互応援協定締結
- 昭和42年 4月 1日 池田市、豊中市、箕面市、消防相互応援協定締結
- 昭和42年 12月 7日 超短波無線電話機、基地局1基、移動局2基増設
- 昭和43年 3月 9日 池田市、大阪市、消防相互応援協定締結
- 昭和42年 12月 28日 池田市、吹田市、消防相互応援協定締結
- 昭和44年 5月 1日 池田市、川西市、消防相互応援協定締結
- 昭和44年 8月 19日 消防監視用テレビジョン設置運用開始
- 昭和45年 3月 10日 池田市、豊中市阪神高速道路並びに中央環状線道路の消防出動に関する覚書締結
- 昭和45年 9月 17日 消防ポンプ自動車、救急車各1台万博終了後損害保険協会により池田市に寄贈、消防本部に配置
- 昭和45年 10月 1日 大阪市と池田市との回転翼航空機による航空消防応援協定締結
- 昭和46年 3月 12日 消防署石橋出張所開所
- 昭和46年 4月 1日 消防職員定数65名に条例改正
- 昭和46年 12月 1日 池田市、豊中市、伊丹市、大阪国際空港及びその周辺における消防救難活動に関する協定締結
- 昭和47年 4月 1日 消防職員定数71名に条例改正
- 昭和47年 11月 6日 査察兼広報車(カローラ)1台池田市消防協会より寄贈を受け本部に配置
- 昭和47年 12月 4日 救急車PH18V型47年式1台大阪府モーターボート競走会より寄贈を受け本署配置
- 昭和48年 3月 31日 3.2m級梯子付消防ポンプ自動車1台購入本署配置

昭和48年 4月 1日	消防職員定数 75名に条例改正
昭和48年 8月 1日	池田市、豊中市、吹田市、川西市、伊丹市、宝塚市、中国縦貫自動車道路吹田宝塚インターチェンジ間における消防業務に関する協定締結
昭和49年 4月 1日	消防職員定数 77名に条例改正
昭和49年11月 5日	救急用復信式無線電話装置設置（基地局 1、移動局 2）
昭和50年11月20日	消防本部（署）庁舎新築工事完成 同日、旧庁舎より移転
昭和51年 6月15日	査察広報車（シャルマン）池田ライオンズクラブより寄贈、本部に配置
昭和53年 2月13日	救急車トヨタ 2B級 53年式 日本損害保険協会より寄贈（超短波無線移動局を含む内装一式 池田市医師会より寄贈）を受ける
昭和53年 3月20日	超短波無線（全国府県波）設置開局
昭和53年 4月 1日	消防職員定数 79名に条例改正
昭和54年 3月30日	池田市消防署細河分署新築工事完成
昭和54年 4月 1日	消防職員定数 84名に条例改正 池田市消防署細河分署開署
昭和54年 6月 7日	池田市、茨木市、吹田市、豊中市、川西市、伊丹市、宝塚市、中国縦貫自動車道路茨木市、宝塚インターチェンジ間における消防業務に関する協定締結 （昭和48年8月1日締結 同吹田、宝塚インターチェンジ間の協定は廃止）
昭和54年12月11日	水槽付ポンプ車 1台（財）損害保険協会より寄贈を受け本署配置
昭和54年12月27日	指揮車（ジープ） 1台 ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署配置
昭和55年12月20日	救急車トヨタ 2B級 55年式 1台購入
昭和55年12月25日	IV型化学車(財)空港振興財団より寄贈を受け本署配置
昭和56年 4月28日	救急車 2B級 56年式大阪府モーターボート競走会より寄贈を受け本署配置
昭和56年12月 8日	救助工作車 1台購入本署配置・救助業務開始
昭和58年12月17日	消防ポンプ自動車CD-II型 1台購入本署配置
昭和59年 5月24日	消防作業用自動車 1台購入本署配置
昭和59年 6月 1日	池田市、豊中市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定に基づく覚書の締結
昭和59年 7月 7日	査察広報車（シャルマン） 1台、池田市消防協会 30周年記念事業により寄贈を受け本署に配置
昭和59年 8月22日	救急車 2B級 59年式 1台、大阪府モーターボート競走会より寄贈を受け本署に配置
昭和59年10月19日	水槽付ポンプ車(II型) 1台購入本署配置
昭和60年 4月 1日	消防職員定数 86名に条例改正
昭和61年 4月 1日	査察広報車（シャルマン） 1台、池田ライオンズクラブより寄贈を受け本署に配置

昭和61年10月20日	15m級バスケット付梯子車1台購入本署に配置
昭和62年 8月12日	大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定の締結
昭和62年 8月28日	救急車2B級62年式1台、日本消防協会より寄贈を受け本署に配置
昭和63年 9月 1日	大阪府下広域消防相互応援協定の締結
昭和63年11月10日	消防ポンプ自動車CD-I型1台購入本署に配置
平成元年12月13日	救急車2B級平成元年式1台、航空公害防止協会の補助を受け本署に配置
平成2年 4月 1日	消防職員定数89名に条例改正
平成2年 8月 8日	II型化学車1台、航空公害防止協会の補助を受け本署に配置
平成3年10月 1日	大阪府下広域消防相互応援協定の再締結
平成3年10月30日	消防ポンプ自動車CD-I型1台購入本署に配置
平成4年 3月10日	救急車2B級平成4年式1台大阪府共済農業協同組合連合会より寄贈を受け本署に配置
平成4年 4月 1日	消防職員定数93名に条例改正
平成4年11月 9日	40m級梯子付消防自動車1台購入本署に配置
平成5年 4月 1日	消防職員定数98名に条例改正
平成6年 3月31日	消防本部(署)庁舎増築工事完成
平成6年 4月 1日	心電図伝送装置の共同設置に係る協定書等の締結
平成6年 6月27日	乗用車(アプローズ)1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置
平成6年 7月14日	指揮車(ロッキー)1台、池田市消防協会より寄贈を受け本署に配置
平成6年 8月23日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成6年 8月30日	阪神高速道路消防協議会発足
平成7年 3月16日	高規格救急車1台大阪府モーターボート競走会より寄贈を受け分署に配置
平成7年 3月29日	消防緊急通信指令施設(発信地表示装置含む)が完成し、同4月1日運用開始
平成7年 4月 1日	消防職員定数101名に条例改正
平成7年10月 4日	勤務形態が二部制から三部制勤務に移行
平成7年11月 8日	資機材搬送車1台購入本署に配置
平成7年12月22日	水槽付ポンプ自動車I-A型1台購入分署に配置
平成8年10月 1日	消防本部消防職員委員会に関する規則の制定、同委員会の発足
平成8年10月 1日	震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定書の締結
平成8年12月18日	救助工作車(II型)1台購入本署に配置
平成9年 4月28日	査察広報車(パイザー)1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置
平成11年 3月10日	消防ポンプ自動車CD-I型1台購入分署に配置

平成11年 4月 1日	消防職員定数104名に条例改正
平成11年 5月28日	池田市地域防災計画に基づき池田市地域防災無線機3基を消防本部2基、細河分署1基配置し運用開始
平成12年 2月14日	Ⅲ型化学消防ポンプ自動車1台購入本署に配置
平成12年 5月17日	災害資材車1台購入本署に配置
平成12年 7月19日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成12年10月 1日	大阪府下広域消防相互応援協定再締結
平成13年 8月 7日	高規格救急車1台購入分署に配置
平成14年 6月 1日	大阪府下広域消防相互応援協定再締結
平成16年 3月 2日	災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I型1台購入本署に配置
平成16年 7月20日	連絡車（アトレー7）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置
平成16年 7月20日	査察広報車（アトレー7）1台、池田市消防協会より寄贈を受け本署に配置
平成17年 2月 9日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入本署に配置
平成17年10月 5日	資機材搬送車1台購入本署に配置
平成17年12月 5日	災害対応特殊救急自動車1台購入本署に配置
平成18年10月31日	はしご付消防ポンプ自動車15m級1台購入本署に配置
平成19年 8月29日	乗用車（ブーン）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置
平成19年10月10日	消防ポンプ自動車CD-I型1台購入分署に配置
平成20年 3月31日	高機能消防指令センターが完成し、同4月1日より運用開始
平成21年11月27日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成21年12月14日	消防署細河分署耐震補強工事完了
平成22年 3月 9日	消防本部（署）庁舎耐震補強工事完了
平成22年12月 1日	救急安心センターおおさか開始
平成22年12月 6日	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台購入本署に配置
平成23年 3月11日	東日本大震災発生により緊急消防援助隊大阪府隊として、延べ消防隊2隊9名岩手県大槌町へ派遣
平成23年 7月29日	消防署細河分署庁舎改修工事完了
平成23年12月 2日	消防本部（署）庁舎改修工事完了
平成23年12月26日	40m級はしご付消防自動車1台購入本署に配置
平成24年 2月 2日	消防ポンプ自動車水槽付CD-I型1台購入分署に配置
平成24年 3月23日	査察広報車（ミラ・イース）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置
平成24年11月19日	救助工作車（Ⅱ型）1台購入本署に配置
平成25年 3月28日	小型動力ポンプ付水槽車1台購入本署に配置
平成26年 4月21日	査察広報車（ミラ・イース）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け本署に配置

平成26年 8月26日	司令車（タント）1台、連絡車（タント）1台、地水利調査用バイク（アドレス）3台、池田市消防協会より寄贈を受け本署及び分署に配置
平成26年12月24日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成27年 3月13日	災害支援車（マイクロバス）1台、栗田トシ子氏より寄贈を受け本署に配置
平成27年 3月31日	豊中市・池田市消防指令センターが豊中市消防本部東泉丘出張所に完成し、同4月1日運用開始
平成27年 5月11日	資機材搬送車（軽トラック）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け分署に配置
平成27年12月25日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成28年 4月16日	熊本地震発生により緊急消防援助隊大阪府隊として、延べ救急隊2隊6名熊本県南阿蘇村へ派遣
平成29年 9月22日	消防ポンプ自動車水槽付CD-I型1台購入本署に配置
平成29年12月20日	高規格救急車1台購入本署に配置
平成30年 6月28日	平成30年7月豪雨発生により緊急消防援助隊大阪府隊として、延べ消火隊4隊14名広島県へ派遣
平成31年 2月19日	乗用車（ブーン）1台、ダイハツ工業(株)より寄贈を受け豊中市・池田市消防指令センターに配置
平成31年 4月 1日	消防署細河分署夜間受付業務の廃止
平成31年 4月 1日	消防職員定数113名に条例改正

# 庁舎概要

## 池田市消防本部（消防署）



所在地	池田市八王寺1丁目2番1号
敷地面積	2,520.12㎡
構造	鉄筋コンクリート造 4階建一部2階・平屋建
建築延面積	本庁舎 1,919.91㎡
着工	昭和49年12月25日
竣工	昭和50年11月20日

## 池田市消防署 細河分署



所在地	池田市東山町1番地の6
敷地面積	596.93㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建
建築延面積	331.14㎡
着工	昭和53年10月18日
竣工	昭和54年 3月30日

# 歴代消防長

- 初代 消防監補 浦野政重  
(就任 昭和23年3月7日・退職 昭和32年2月21日)
- 第2代 消防監補 山縣忠孝  
(就任 昭和32年2月22日・退職 昭和36年1月17日)
- (昭和36年1月18日～昭和36年3月31日は市長が消防長事務取扱)
- 第3代 消防監 鳥居忠一  
(就任 昭和36年4月1日・退職 昭和51年3月31日)
- 第4代 消防監 山川増平  
(就任 昭和51年4月1日・退職 昭和54年9月30日)
- 第5代 消防監 野田眞爾  
(就任 昭和54年10月1日・退職 昭和58年6月30日)
- 第6代 消防監 塩月美義  
(就任 昭和58年7月1日・退職 平成元年3月31日)
- 第7代 消防監 奥孝治  
(就任 平成元年4月1日・退職 平成7年3月31日)
- 第8代 消防監 乃一大八  
(就任 平成7年4月1日・退職 平成13年3月31日)
- 第9代 消防監 落合郁男  
(就任 平成13年4月1日・退職 平成14年3月31日)
- 第10代 消防監 森脇光治  
(就任 平成14年4月1日・退職 平成18年3月31日)
- 第11代 消防監 川上栄治  
(就任 平成18年4月1日・退職 平成21年3月31日)
- 第12代 消防監 禮久澄昭  
(就任 平成21年4月1日・退職 平成25年3月31日)
- 第13代 消防監 梶田忠彦  
(就任 平成25年4月1日・退職 平成31年3月31日)

第 14 代 消 防 監 大 西 文 夫  
(就任 平成31年4月1日～)



# 歴代消防団長

- 初代 岩崎隆五郎  
(就任 昭和22年8月1日・退任 昭和23年8月9日)
- 第2代 高橋義久  
(就任 昭和23年8月10日・退任 昭和47年3月31日)
- 第3代 前川仁嗣  
(就任 昭和47年4月1日・退任 昭和51年3月31日)
- 第4代 高木龍男  
(就任 昭和51年4月1日・退任 平成8年3月31日)
- 第5代 渋谷徹  
(就任 平成8年4月1日・退任 平成20年3月31日)
- 第6代 藤川登  
(就任 平成20年4月1日・退任 平成24年3月31日)
- 第7代 山田正昭  
(就任 平成24年4月1日・退任 平成28年3月31日)
- 第8代 井関義次  
(就任 平成28年4月1日～)